
「補習教育における官民協働：東アジア地域での経験を共有する政策フォーラム」について

平成29年12月27日

公益社団法人全国学習塾協会

当協会は平成29年12月9日から10日にかけて、香港大学で開かれたユネスコ主催の『補習教育における官民（公私）協働：東アジア地域での経験を共有する政策フォーラム』に日本の民間教育（学習塾）団体を代表して参加しました。

このフォーラムは、東アジア地域における4つの国と地域、すなわち中国、香港、日本、韓国の官民協働事業（PPP s）の経験を互いに共有し学び合うことが目的です。これらの国と地域は補習教育での官民協働事業において、世界をリードしている一方、それぞれ規模、歴史的背景に差異があり、また地域や組織による違いも見られます。それぞれの経験や体験を互いに学び合うことで、ガイドラインを設定し、民間事業者による自己規制のあり方の提言につながる可能性を探るというものです。

フォーラムに先立ち、政府、企業、学校の各参加者からそれぞれの立場からの経験発表を行いました。発表には学校の補習教育における官民協働の現状、目的、協働のプロセスが含まれ、それぞれの立場での成功例の提示や困難点が指摘、問題点の提起がされました。その後、公開討論会が行われました。

当協会からは安藤大作会長が参加し全体会で公教育と学習塾の連携について発表を行いました。日本からは、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課民間教育事業振興室の伊佐敷真孝室長、企業として「花まる学習会」の前原匡樹氏、「パソナエデュケーション」の青田朱実氏が参加し発表を行いました。

以上

